

積水ハウス株式会社

サステナブル社会実現に向け、社会課題解決を目指した環境・CSR活動の報告書 「サステナビリティレポート2017」 環境コミュニケーション大賞で 2年連続“環境大臣賞”を受賞

積水ハウス株式会社（社長：仲井嘉浩、本社：大阪市北区、以下「積水ハウス」）の環境・CSRに関する活動報告書「Sustainability Report（サステナビリティレポート）2017」（2017年5月発行）が、第21回環境コミュニケーション大賞（主催：環境省、一般財団法人 地球・人間環境フォーラム）の環境報告書部門において環境大臣賞（持続可能性報告大賞）を受賞しました。本賞は「環境報告書として優れていることに加えて、持続可能性の視点から社会側面に関する記述に最も優れた報告書」を顕彰するもので、主催者による講評の要旨は以下の通りです。なお、環境大臣賞の受賞は2年連続（優秀賞以上の受賞は5年連続8回目）となります。



講評（要旨）

- 「サステナビリティビジョン2050」を新たに策定し、「脱炭素社会」「人と自然の共生社会」「資源循環型社会」「長寿先進・ダイバーシティ社会」を率先して目指す事業プランが、実績を踏まえつつ詳細に描かれている。
- 持続可能な社会実現のためのCSV戦略を設定しており、国内外で永続的な住環境づくりとコミュニティデザインに主眼を置く事業展開の記述が優れている。

■ 「サステナビリティレポート2017」ラインアップ



	冊子	WEB	別冊
編集方針	重要性の高い情報に絞り込み、専門的な内容も盛り込んで編集 全84ページ	あらゆるステークホルダーへの説明責任を果たすため、網羅的に（冊子より詳しく）情報開示 PDFでの一括ダウンロードも可能（A4で）536ページ	お客様の関心が高い内容に絞り、わかりやすく編集 全24ページ
対象読者	グループ全従業員（約2万3千人）、有識者、中長期投資家、CSRへの関心が高いお客様	あらゆるステークホルダー	一般のお客様

「サステナビリティレポート2017」はGRI「サステナビリティレポート・ガイドライン第4版」（G4）の「中核」に準拠しており、特定標準開示項目（46側面）のうち、当社グループにとってマテリアルな19側面を「CSV戦略」に束ねて開示しています。また、積極的に社外に配布する一方で、グループ全従業員にも配付し、eラーニングなどを実施して、自社取り組みの理解度向上を図っています。

積水ハウスグループは、あらゆるステークホルダーとともに、時代の要請に応える新たな価値を創出する環境・CSR活動に取り組むことで、さまざまな社会課題を解決し、持続可能な社会の構築を目指します。【WEBサイトTOPページ <https://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/index.html>】



未来のために、
いま選ぼう。

【本件についてのお問合せ】 積水ハウス株式会社 広報部
（大阪）TEL 06-6440-3021 （東京）TEL 03-5575-1740
（本社）大阪市北区大淀中1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト

